

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2年 2月 21日 更新

事務事業名	官民広域連携による女性輝く地域づくり事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画	政策	6	産業の健康			所属部	産業振興部	課長名	松田 勝
	施策	28	企業誘致の促進と働く場の確保			所属課	商工振興課	担当者名	九重 浩光
体系	施策の柱	75	雇用環境の充実支援と就業機会の確保			所属班	商工振興班	(内線)	5213
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 25	事業連番 11668	根拠法令			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 27 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)					

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	女性が活躍できる仕事や住みたくなるまちの創出など、女性にとっての魅力的なまちづくりは、今後の少子高齢化を克服していく上で、重要な要素である。地域における女性創業者の掘り起しを金融機関、並びに熊本県よろず支援拠点及び商工会等の経営支援機関との連携し、女性創業支援を強化する。
【業務の流れ】	5カ年の事業期間において①創業応援、②地域資源応援、③地元愛着応援、④地域の魅力発信を通じて、女性目線の政策提言及び女性輝く地域づくりを集中的に行う。
【主な予算費目】	報酬、旅費(費用弁償)、委託料、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	少子高齢化が進展するなか、創業、子育て、ワークスタイル等、様々な女性のあり方の魅力を発信するものであり、関係者のニーズに合うものである。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動) (DO)	31年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
官民広域連携による事業推進組織「肥後六華の會」に参画した。また、市内での女性の創業志向者掘り起しのため、起業セミナーを開催した。	三大ミッション (①ワークライフデザインミッション②インバウンドミッション③アウトバウンドミッション) 「熊本県よろず支援拠点」等を活用し、引き続き女性の創業志向者の掘り起こしもおこなう。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
⇒ ア: 会員登録者数	人 産業振興アドバイザーの任用終了に伴う報酬、及び支援業務をワークショップ開催からアンケート調査に変更することによる委託料の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
子育て、就業、創業等について困っている女性	(単位) 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
女性が活躍できる機運醸成	(単位) 人
	⇒ ア: 起業家数
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠	
女性活躍の要素の1つとして就業や起業があり、とくに起業家数の増加が地域の活性化、魅力増進の兆しを顯示するものと考えられる。肥後六華の會において事業拠点であったコワーキングスペースが閉鎖されたため目標値を抑えた。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	28年度 実績(決算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	2年度 予定	3年度 見込	4年度 見込
① 活動指標	ア	人	145	98	30	0	30	30	30	0
	イ									
② 対象指標	ア									
	イ									
③ 成果指標	ア	人	2	0	2	0	4	4	4	0
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円	39,957						
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	3,736	1,181	3,308	1,782	620	3,332	3,332
		(A) 事業費計	千円	43,693	1,181	3,308	1,782	620	3,332	3,332
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	0	2,610	0	2,562	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	6	4	3	3	3	3	3	
	延べ業務時間	時間	1,492	660	0	650	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	43,693	3,791	3,308	4,344	620	3,332	3,332	

事務事業名	官民広域連携による女性輝く地域づくり事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	----------------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は30年度の後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 目標値の設定が難しいが、29年度において肥後六華の会のテレワーク事業で使用していた施設が年度途中で閉鎖となる等、当該事業の進捗に厳しい影響を及ぼす事象があったことも一因と考えられる。
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 本市が参画する肥後六華の会の事業は、29年度以降テレワーク事業（ワークライフデザインミッション）とアンテナショップ事業（アウトバウンドミッション）に重点が置かれている。本市としてはテレワーク事業の展開を注視しつつ、本市での女性創業者の掘り起こしに向け「熊本県よろず支援拠点（中小企業庁）」による相談会を市内で開催するなど間口を広げる取り組みを強化したい。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 本年度は肥後六華の会ではアンテナショップ事業に重点が置かれる計画であるため、これ以外の、熊本県よろず支援拠点や民間事業者との連携による女性創業者の掘り起こしに活路を求めたい。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 まち・ひと・しごと総合戦略に基づいて事業実施している事業で、統廃合の可能性は無い。一方、官民とも女性活躍について取り組んでいるので、これらとの連携は図る必要がある。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 女性起業創業には、事業に必要な技術の習得、法手続きの支援、資金調達等様々な外部の専門家支援が必要となることから、委託料などの事業費が必要である。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の人数で対応しているため削減余地がない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 地域における女性活躍を支援する事業であり、費用負担は適正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市は、市民等へ機会や場所を提供することを担うものであり、行政の役割としては適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

短時間で成果の出にくい事業であり、継続的に起業創業に関心のある女性の掘り起こし、興味を持ってもらう機会を設けていく必要がある。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						